

1 事業種別	時間外保育事業（延長保育）	
2 事業概要	保育所等の在園児に対して、11時間の開所時間を超えて概ね午後7時までの保育を実施。	
3 対象年齢	0～5歳	
4 本市での実施状況	各保育所（68か所）において実施。平成25年度は、3,935人の児童に実施。	
5 提供区域	14区域(教育・保育事業と同様)	
6 量の見込みの算出方法(計画当初)	<p>○国の「手引き」による算出方法</p> <p>(1)家庭類型別児童数の算出 「推計児童数」×「潜在家庭類型（割合）」＝「家庭類型別児童数」 ※本事業では、共働き家庭（潜在含む）、ひとり親家庭が対象。</p> <p>(2)利用意向率を算出 保育所、認定こども園等の施設について18時以降も利用を希望する者の割合</p> <p>(3)量の見込み算出 「家庭類型別児童数」×「利用意向率」＝「量の見込み」</p> <p>○本市の量の見込みの考え方 国の「手引き」を踏まえて算出。</p>	
7 見直しの考え方	類型	①過去2年の実績を踏まえ、「量の見込み」及び「確保方策」を見直す事業
	量の見込み	計画策定時の量の見込みは、定期的利用のみを推計したものであり、平成28年度までの利用実績に基づく量と乖離があったため、臨時的なニーズも考慮して推計し、平成30年度以降の量の見込みを修正する。
	確保方策(提供体制)	平成27年度以降、各こども園等において、臨時的な利用者も含め受け入れしており、今後のニーズにも対応可能であると見込まれるため、平成30年度以降の量の見込みと同数に修正する。

「量の見込み」と「確保方策」（計画当初）

(単位：人/年)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	2,605	2,571	2,521	2,471	2,440
確保方策	4,000	4,000	4,000	4,000	4,000

「量の見込み」と「確保方策」（見直し案）

(単位：人/年)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
量の見込み	2,605	2,571	2,521	5,570	5,612
確保方策	4,000	4,000	4,000	5,570	5,612

過去の利用実績（27年度以降）

(単位：人/年)

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
利用実績	4,828	4,946	—	—	—